

PRESS Release



スタンダードチャータード銀行、 株)スカンヂナビア所属プロスポーツ選手向け銀行サービスを提供するべく業務提携

[2005年9月22日、東京]—スタンダードチャータード銀行(本店:ロンドン、東京支店:東京都千代田区、東京支店CEO:マーク・デヴァダソン)は、所属プロスポーツ選手向けに銀行サービスを提供することで株式会社スカンヂナビア(本社:東京渋谷区、代表取締役:杉澤修一)と合意したことを発表しました。

プロのスポーツ選手はキャリアを通じて多額の収入を得ることができますが、平均年俸が不安定なことや、負傷、スポンサー契約や雇用契約の変更または不遇、あるいはその他の要因により、経済状況が一変することもあります。また、スポーツ選手が複数の国々で収入を得た場合、為替の問題に直面することもあります。

これらのニーズに応えるため、スタンダードチャータード銀行は株式会社スカンヂナビアと共同でスポーツ選手の競技生活からプロとしての引退とその後にいるまで、ライフ・プランニング全般をカバーする金融サービスを提供するべく業務提携いたします。スポーツ・マネージメントのスペシャリストである株式会社スカンヂナビアは、同社が持つ広範囲のネットワークと経験を駆使しながら、スポーツ選手にとって必要なパーソナルマネージメントサービスを行なう一方で、スタンダードチャータード銀行はウェルスマネジメントにおける世界規模の実績に基づく適切な金融サービスを提供していきます。

スタンダードチャータード銀行東京支店のCEOマーク・デヴァダソンは、次のように語っています。「私たちのコンセプトは特定の顧客層にふさわしい金融サービスを提供することであり、スポーツ・マネージメントに定評がある上、私たちにはない部分を持ち合わせている日本のパートナーとともに、日本独自のサービスを提供できることを喜ばしく思います」。

また、スタンダードチャータード銀行、コンシューマーバンキング在日代表の青沼丈二は、次のように語っています。「今回の試みは、独特なニーズを持つ顧客層に向けて金融サービスを提供するというものです。プロのスポーツ選手は華やかな生活をしていると考えられがちですが、その一方でこういった才能をもつ人たちの特殊な職業に対する個別の金融アドバイスの必要性もあるのです。このような新しい顧客層に対して本当に役立つ最高のバンキングサービスを提供できるということは、大きなビジネスチャンスであると考えています」。

スタンダードチャータード銀行は、プロのスポーツ選手に独自の金融サービス、あるいは彼らのビジネスおよび社会的なネットワークを広げる機会作りを提供するなどの方法を通じ、市場に対するアピールの強化を図り、このイニシアティブを広域のプライオリティ・バンキング・サービスに取り入れていく計画です。

お問い合わせ先:

スタンダードチャータード銀行
コンシューマーバンキング

洲崎 由美子

Tel: 03-4360-8873

Fax: 03-4360-8899

E-mail: Yumiko.Suzaki@jp.standardchartered.com

世界におけるスタンダードチャータード銀行について

スタンダードチャータード銀行は、アジア・太平洋地域、南アジア、中近東、アフリカ、英国、南北アメリカの50カ国以上で950の拠点を有する、世界でもっとも国際的な銀行の一つです。3万8000人の従業員を擁しており、その国籍は80にのぼります。

スタンダードチャータード銀行は、リテール(小口金融)およびホールセール(大口金融)業務の両面でサービスを提供しています。リテール銀行業務では、個人顧客および中小企業に向けてクレジットカード、個人ローン、住宅ローン、預金、資産運用のサービスを展開しています。また、ホールセール業務では、企業および団体に対する、貿易金融、キャッシュ・マネジメント、貸し付け、証券サービス、外国為替、債権資本市場、コーポレートファイナンスを手がけています。

スタンダードチャータード・ピーエルシーは、ロンドン証券取引所ならびに香港証券取引所に上場し、時価総額ベースで FTSE100 構成銘柄の上位25社の一つに数えられています。

世界におけるSCBのウェブサイト(英語): www.standardchartered.com

日本およびアジアにおけるスタンダードチャータード銀行について

日本におけるスタンダードチャータード銀行の歴史は、横浜にはじめての出張所を開設した1880年にさかのぼり、今年の11月1日には開設125周年を迎えます。東京支店は山王パークタワー(千代田区)にあり、現在160人を擁しています。うち日本人社員は94%にのぼります。スタンダードチャータード銀行は、アジア、アフリカ、中近東の各地域に投資する日本企業および銀行に対して、ホールセール(大口金融)、カストディ、トレジャリーおよび貿易取引の各業務分野におけるサービスを提供しながら成長を続けています。

スタンダードチャータード銀行は過去1年間、Permatta Bank(インドネシア)、韓国第一銀行(韓国)、ANZのアジア、中近東全域のプロジェクトファイナンス事業、Prime Credit(香港)等の一連の買収戦略と、自身の自律成長を共に進め、アジア、アフリカ、中近東の各地域で確固たる地位を確立してきました。また、中国では150年にわたり事業発展を進めてきました。事業拠点を香港におき、珠江デルタでの成長を続ける一方で、その勢力をさらに北に拡張すべく、中国のネットワーク(現在7支店)を通じて現地の銀行との提携の機会も探求しています。

スタンダードチャータード銀行は、視力回復および HIV/AIDS 教育の分野で地域組織を支援する CSR プログラムを積極的に実施するなど、地域社会への貢献に向けてたゆまぬ努力を続けています。

プライオリティバンキングについて

プライオリティバンキングは、プライベートバンキングが提供する顧客一人ひとりごとに合わせたアドバイスとサポートにコンシューマーバンキングが持つ便宜性と経済性を融合させたもので、アジア、中近東、アフリカなどの26ヶ国におよぶ市場で展開されています。日本におけるプライオリティバンキングは、預かり資産残高が2,000万円相当額以上の顧客層を対象に設計されたもので、経験豊かな専任の担当者が、顧客一人ひとりの資産形成をきめ細かくサポートする、5つ星ホテル並のコンシェルジュサービスを提供します。

プライオリティバンキングが提供する主な金融商品は、外貨預金および投資信託です。スタンダードチャータード銀行の外貨預金商品は、従来から日本で提供されてきたタイプのサービスを総合的に見直したものであり、最高レベルの普通預金金利と為替手数料無料を提供します。香港、シンガポールなど、スタンダードチャータード銀行が展開する他の市場では、この種の外貨預金口座は、富裕層の資産運用のツールとして受け入れられ実績を重ねてきました。

株式会社スカンディナビアについて

契約選手の勝利支援に特化したスポーツマネジメントを行います。東北楽天ゴールデンイーグルスの設立支援から球団運営サポート受託は、プロ野球史上初の球団運営アウトソーシングとして注目を集めました。その他、スポーツコンテンツ、肖像、著作権を活用した商品開発や社会還元事業の推進を積極的に行っており、契約傘下にテニスプレイヤー宮城ナナ、プロゴルファー服部道子、シドニー五輪代表監督を務め現在後輩指導に当たっている元プロトライアスリート飯島健二郎、プロ野球選手栗原健太などがおります。

株式会社スカンディナビアのウェブサイト(日本語): www.scandinavia-jp.com



スタンダードチャータード銀行は“Seeing is Believing”プログラムを推進しており、2年間で100万人の視力回復の実現を目指しています

日本におけるSCBプライオリティバンキングのウェブサイト(日本語): www.standardchartered.co.jp/cb/pb

日本におけるSCBのウェブサイト(日本語): www.standardchartered.com/jp/japanese/

日本におけるSCBのウェブサイト(英語): www.standardchartered.com/jp/index.html